

春から社会人になるなどして新生活が始まり、初めてクレジットカードを作る人も多いでしょう。特徴や仕組みなどを理解して、有効に利用してください。

便利な点は、手持ちの現金がなくても後払いで買い物やサービスを受けられることです。代金は、契約したクレジット会社がまずお店に支払い、後日、消費者がクレジット会社に代金を支払います。

クレジット会社は、消費者が後で代金を支払うことを信用して立て替えるので、カードの発行時には、使った代金を必ず支払える収入があるかなどの審査を受けることとなります。

支払い方法は一括、ボーナス一括、分割のほか、リボルビング（毎月1万円など、設定した金額を月々支払う方法）があります。

中でもリボルビングは、借入残高が増えても気づきにくく、支払期間も長くなりがちです。借入残高が増えると手数料も増えるため、結果として支払総額が増えてしまいます。

支払残高を基にした支払い方法なので、利用明細などで常に残高を確認しておくことが必要です。

クレジットカードは、使いすぎる危険性もあります。お金を借りられる「キャッシング」機能がついている場合、気軽に借る癖をつけないようにしましょう。

利用する際は、カードの裏面に必ずサインをしておく、本人のみが使う、暗証番号やセキュリティーコードは他人に教えない、誕生日など、推測されやすい数字を暗証番号に設定しないを心がけてください。

裏面にサインがないなど本人に過失があると、不正利用による損害に対する補償が受けられない場合があります。不正に使われていないかどうかを確かめるためにも、毎月の明細書のチェックは必ず行いましょう。